

高金利先進国債券オープン（毎月分配型） ＜愛称 月桂樹＞

運用報告書（全体版）

第166期（決算日 2017年8月10日）第168期（決算日 2017年10月10日）第170期（決算日 2017年12月11日）
第167期（決算日 2017年9月11日）第169期（決算日 2017年11月10日）第171期（決算日 2018年1月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「高金利先進国債券オープン（毎月分配型）」は、2018年1月10日に第171期の決算を行ないましたので、第166期から第171期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 2003年8月5日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 主として、ソブリン債（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）や社債などを主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | 「高利回り先進国債券ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 |

<940380>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準 (分配落) | 価額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 投 資 信 託 組 入 比 | 純 資 産 率 | 純 資 産 額 |
|-------------------|-------------|--------|--------|---------|------------------|-----------|---------------------------------|------------------|------------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 金 | | | | | |
| 142期(2015年8月10日) | 円 7,431 | | | 円 55 | | % 96.9 | | % — | 百万円 464,691 |
| 143期(2015年9月10日) | 6,999 | | | 55 | △5.1 | 94.7 | — | — | 439,827 |
| 144期(2015年10月13日) | 7,100 | | | 55 | 2.2 | 93.9 | — | — | 446,878 |
| 145期(2015年11月10日) | 7,043 | | | 55 | △0.0 | 97.5 | — | — | 443,184 |
| 146期(2015年12月10日) | 7,025 | | | 55 | 0.5 | 97.2 | — | — | 438,390 |
| 147期(2016年1月12日) | 6,645 | | | 55 | △4.6 | 97.7 | — | — | 414,662 |
| 148期(2016年2月10日) | 6,567 | | | 55 | △0.3 | 95.5 | — | — | 406,486 |
| 149期(2016年3月10日) | 6,472 | | | 55 | △0.6 | 96.2 | — | — | 397,213 |
| 150期(2016年4月11日) | 6,245 | | | 55 | △2.7 | 98.2 | — | — | 380,258 |
| 151期(2016年5月10日) | 6,175 | | | 55 | △0.2 | 95.9 | — | — | 372,086 |
| 152期(2016年6月10日) | 6,159 | | | 55 | 0.6 | 97.7 | — | — | 363,764 |
| 153期(2016年7月11日) | 5,797 | | | 55 | △5.0 | 93.2 | — | — | 333,391 |
| 154期(2016年8月10日) | 5,805 | | | 55 | 1.1 | 97.2 | — | — | 327,074 |
| 155期(2016年9月12日) | 5,781 | | | 55 | 0.5 | 97.9 | — | — | 319,341 |
| 156期(2016年10月11日) | 5,763 | | | 40 | 0.4 | 97.1 | — | — | 313,166 |
| 157期(2016年11月10日) | 5,783 | | | 40 | 1.0 | 96.9 | — | — | 297,153 |
| 158期(2016年12月12日) | 6,040 | | | 40 | 5.1 | 96.6 | — | — | 298,978 |
| 159期(2017年1月10日) | 6,009 | | | 40 | 0.1 | 97.3 | — | — | 289,264 |
| 160期(2017年2月10日) | 5,960 | | | 40 | △0.1 | 87.9 | 10.1 | — | 279,572 |
| 161期(2017年3月10日) | 5,842 | | | 40 | △1.3 | 86.6 | 10.4 | — | 268,311 |
| 162期(2017年4月10日) | 5,686 | | | 40 | △2.0 | — | 98.9 | — | 256,222 |
| 163期(2017年5月10日) | 5,764 | | | 40 | 2.1 | — | 98.9 | — | 254,672 |
| 164期(2017年6月12日) | 5,727 | | | 40 | 0.1 | — | 98.9 | — | 246,560 |
| 165期(2017年7月10日) | 5,836 | | | 40 | 2.6 | — | 98.3 | — | 245,581 |
| 166期(2017年8月10日) | 5,716 | | | 40 | △1.4 | — | 98.9 | — | 235,618 |
| 167期(2017年9月11日) | 5,643 | | | 40 | △0.6 | — | 99.1 | — | 229,031 |
| 168期(2017年10月10日) | 5,695 | | | 40 | 1.6 | — | 98.8 | — | 226,732 |
| 169期(2017年11月10日) | 5,678 | | | 40 | 0.4 | — | 99.0 | — | 220,891 |
| 170期(2017年12月11日) | 5,594 | | | 40 | △0.8 | — | 99.1 | — | 213,580 |
| 171期(2018年1月10日) | 5,609 | | | 40 | 1.0 | — | 98.9 | — | 209,730 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしているため、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基準 | 価 額 | | 債 券 組 入 比 | 券 率 % | 投 資 信 託 組 入 比 | 託 券 率 % |
|-------|----------------------|-------|------|---|--------------|----------|------------------|------------|
| | | | 騰 落 | 率 | | | | |
| 第166期 | (期 首) 2017年7月10日 | 円 | | % | | % | | % |
| | 7月末 | 5,836 | — | — | — | — | 98.3 | |
| | (期 末) 2017年8月10日 | 5,849 | 0.2 | — | — | 99.0 | | |
| 第167期 | (期 首) 2017年8月10日 | 5,756 | △1.4 | — | — | — | 98.9 | |
| | 8月末 | 5,716 | — | — | — | — | 98.9 | |
| | (期 末) 2017年9月11日 | 5,737 | 0.4 | — | — | — | 98.9 | |
| 第168期 | (期 首) 2017年9月11日 | 5,683 | △0.6 | — | — | — | 99.1 | |
| | 9月末 | 5,643 | — | — | — | — | 99.1 | |
| | (期 末) 2017年10月10日 | 5,770 | 2.3 | — | — | — | 99.1 | |
| 第169期 | (期 首) 2017年10月10日 | 5,735 | 1.6 | — | — | — | 98.8 | |
| | 10月末 | 5,695 | — | — | — | — | 98.8 | |
| | (期 末) 2017年11月10日 | 5,669 | △0.5 | — | — | — | 99.0 | |
| 第170期 | (期 首) 2017年11月10日 | 5,718 | 0.4 | — | — | — | 99.0 | |
| | 11月末 | 5,678 | — | — | — | — | 99.0 | |
| | (期 末) 2017年12月11日 | 5,582 | △1.7 | — | — | — | 99.2 | |
| 第171期 | (期 首) 2017年12月11日 | 5,634 | △0.8 | — | — | — | 99.1 | |
| | 12月末 | 5,594 | — | — | — | — | 99.1 | |
| | (期 末) 2018年1月10日 | 5,651 | 1.0 | — | — | — | 99.0 | |
| | | 5,649 | 1.0 | — | — | — | 98.9 | |

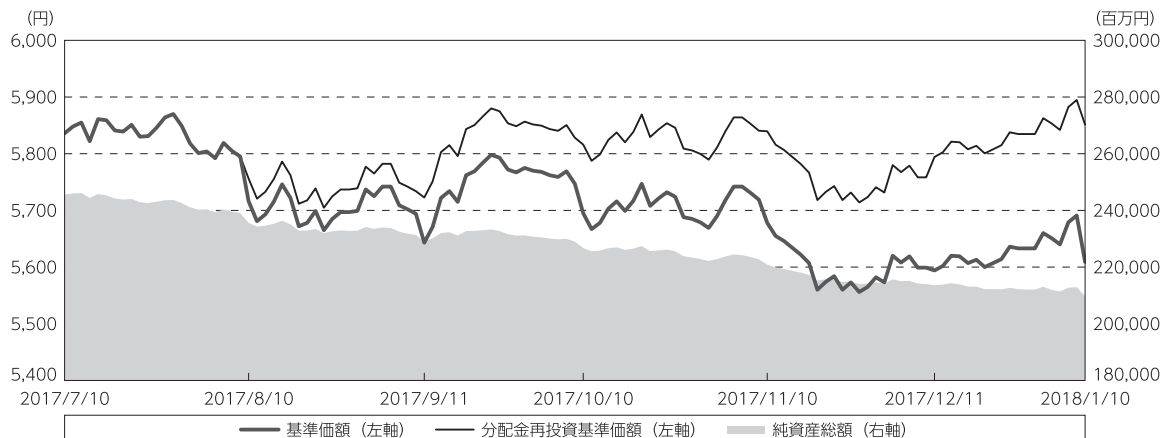
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2017年7月11日～2018年1月10日）

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年7月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、世界の主要先進国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・保有債券からインカム収入を得たこと。
- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で上昇したこと（ユーロ、ノルウェークローネ、オーストラリアドル）。

＜値下がり要因＞

- ・一部の投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・投資対象国の通貨が対円で下落したこと（ニュージーランドドル、アメリカドル）。

投資環境

（債券市況）

米国では米国連邦準備制度理事会（F R B）が金融政策の正常化を継続し、2017年12月に年内3度目となる利上げを実施しました。債券市場は、米国トランプ大統領の動静や税制改革の進展など主に米国の政治情勢に左右されました。

ユーロ圏では欧州中央銀行（E C B）が2017年10月に債券購入額の縮小を発表するとの期待から、ユーロが2017年後半に強含みました。E C Bは債券購入額を、2018年1月より、月間600億ユーロから同300億ユーロへ引き下げる一方、購入を9月まで継続すると発表し、予想よりもわずかにハト派的なスタンスを示しました。

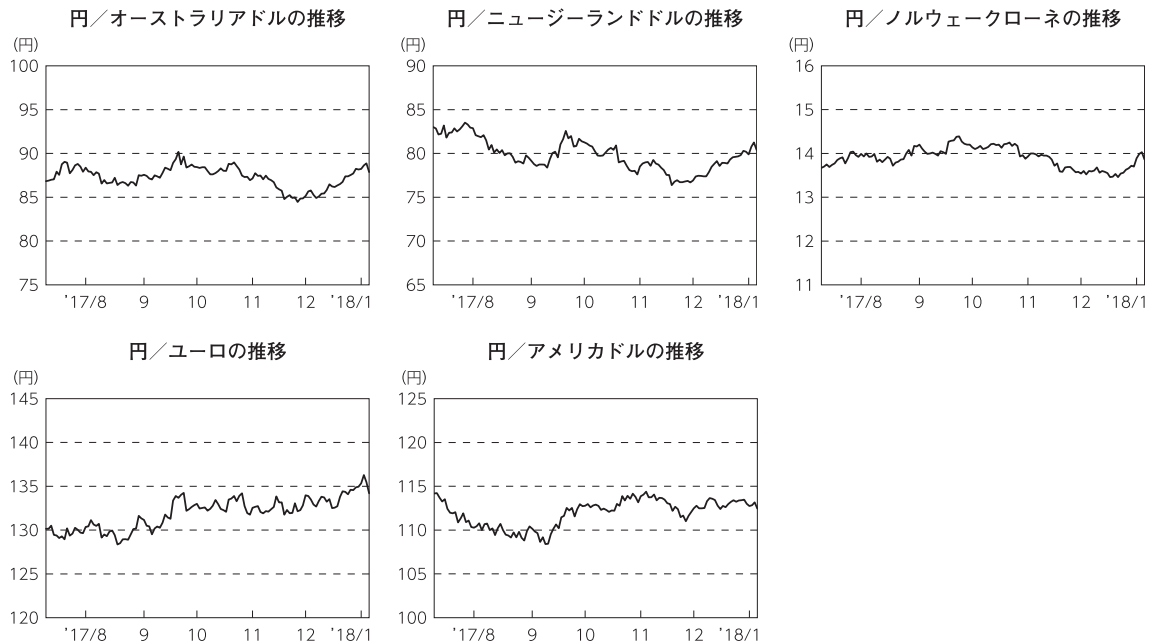
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.09%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(高利回り先進国債券ファンド クラスA)

期間中、ECBが債券購入額の縮小を発表すると予想されたことから、投資対象国（通貨ベース）のうち、カナダからユーロへの入替えを行いませんでした。期間末時点での投資対象国（通貨ベース）は、アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、ノルウェー、ユーロの5カ国となりました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）に留意しながら国ごとのデュレーションを調整し、ファンドのリターンの最大化に努めました。

(マネー・オープン・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第166期 | 第167期 | 第168期 | 第169期 | 第170期 | 第171期 |
|-----------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 | 2017年12月12日～ 2018年1月10日 |
| 当期分配金 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| (対基準価額比率) | 0.695% | 0.704% | 0.697% | 0.700% | 0.710% | 0.708% |
| 当期の収益 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 当期の収益以外 | — | — | — | — | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 222 | 223 | 226 | 227 | 228 | 231 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高利回り先進国債券ファンド クラスA」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（高利回り先進国債券ファンド クラスA）

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月11日～2018年1月10日)

| 項 目 | 第166期～第171期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------|------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 24 | % 0.418 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (4) | (0.072) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (19) | (0.327) | 運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.019) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 0 | 0.003 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 24 | 0.421 | |
| 作成期間の平均基準価額は、5,709円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2017年7月11日～2018年1月10日)

投資信託証券

| 銘 柄 | | 第166期～第171期 | | | |
|-----|--------------------|-------------|---------|------------------|------------------|
| | | 買 付 | | 売 付 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 国 内 | 高利回り先進国債券ファンド クラスA | 千口 — | 千円 — | 千口 26,304,950 | 千円 24,693,638 |

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 第166期～第171期 | | | |
|------------------|-------------|---------|-------------|-------------|
| | 設 定 | | 解 約 | |
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| マナー・オープン・マザーファンド | 千口 - | 千円 - | 千口 3,212 | 千円 3,267 |

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月11日～2018年1月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年7月11日～2018年1月10日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年7月11日～2018年1月10日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年1月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘 | 柄 | 第165期末 | 第171期末 | | |
|--------------------|---|-------------|-------------|-------------|------|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 | 比率 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 | % |
| 高利回り先進国債券ファンド クラスA | | 250,968,976 | 224,664,025 | 207,454,761 | 98.9 |
| 合 | 計 | 250,968,976 | 224,664,025 | 207,454,761 | 98.9 |

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 第165期末 | 第171期末 | |
|------------------|---|--------|--------|--------|
| | | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| マネー・オープン・マザーファンド | | 23,944 | 20,731 | 21,086 |

(注) 親投資信託の2018年1月10日現在の受益権総口数は、196,343千口です。

○投資信託財産の構成

(2018年1月10日現在)

| 項 | 目 | 第171期末 | |
|------------------|---|-------------|-------|
| | | 評価額 | 比率 |
| | | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | | 207,454,761 | 98.0 |
| マネー・オープン・マザーファンド | | 21,086 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | | 4,289,578 | 2.0 |
| 投資信託財産総額 | | 211,765,425 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第166期末 | 第167期末 | 第168期末 | 第169期末 | 第170期末 | 第171期末 |
|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 2017年8月10日現在 | 2017年9月11日現在 | 2017年10月10日現在 | 2017年11月10日現在 | 2017年12月11日現在 | 2018年1月10日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 237,819,473,648 | 231,229,570,813 | 228,877,711,638 | 223,214,220,962 | 215,673,888,948 | 211,765,425,399 |
| コール・ローン等 | 4,775,869,858 | 4,307,782,712 | 4,057,176,226 | 4,515,372,073 | 3,999,904,715 | 4,289,539,640 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 233,019,554,499 | 226,898,554,115 | 224,037,924,978 | 218,676,627,893 | 211,652,627,932 | 207,454,761,320 |
| マネー・オープン・マザーファンド(評価額) | 23,985,401 | 23,233,986 | 22,934,844 | 22,180,935 | 21,356,301 | 21,086,333 |
| 未収入金 | 63,890 | - | 759,675,590 | 40,061 | - | 38,106 |
| (B) 負債 | 2,200,676,737 | 2,198,463,436 | 2,145,499,191 | 2,323,028,508 | 2,092,911,655 | 2,034,912,672 |
| 未払収益分配金 | 1,648,841,327 | 1,623,464,292 | 1,592,364,262 | 1,556,160,013 | 1,527,331,199 | 1,495,570,533 |
| 未払解約金 | 379,505,903 | 404,011,595 | 399,872,876 | 607,435,860 | 412,371,459 | 393,455,502 |
| 未払信託報酬 | 171,233,019 | 169,895,766 | 152,287,043 | 158,415,350 | 152,233,115 | 144,956,959 |
| 未払利息 | 3,997 | 7,824 | 3,396 | 6,571 | 4,612 | 4,832 |
| その他未払費用 | 1,092,491 | 1,083,959 | 971,614 | 1,010,714 | 971,270 | 924,846 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 235,618,796,911 | 229,031,107,377 | 226,732,212,447 | 220,891,192,454 | 213,580,977,293 | 209,730,512,727 |
| 元本 | 412,210,331,774 | 405,866,073,076 | 398,091,065,501 | 389,040,003,298 | 381,832,799,902 | 373,892,633,254 |
| 次期繰越損益金 | △176,591,534,863 | △176,834,965,699 | △171,358,853,054 | △168,148,810,844 | △168,251,822,609 | △164,162,120,527 |
| (D) 受益権総口数 | 412,210,331,774口 | 405,866,073,076口 | 398,091,065,501口 | 389,040,003,298口 | 381,832,799,902口 | 373,892,633,254口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 5,716円 | 5,643円 | 5,695円 | 5,678円 | 5,594円 | 5,609円 |

(注) 当ファンドの第166期首元本額は420,773,797,112円、第166～171期中追加設定元本額は5,691,405,214円、第166～171期中一部解約元本額は52,572,569,072円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第166期0.5716円、第167期0.5643円、第168期0.5695円、第169期0.5678円、第170期0.5594円、第171期0.5609円です。

(注) 2018年1月10日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は164,162,120,527円です。

○損益の状況

| 項 目 | 第166期 | 第167期 | 第168期 | 第169期 | 第170期 | 第171期 |
|-------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 | 2017年12月12日～ 2018年1月10日 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | 1,857,798,636 | 1,830,568,371 | 1,795,042,592 | 1,752,851,222 | 1,724,649,295 | 1,689,320,994 |
| 受取配当金 | 1,857,929,832 | 1,830,705,540 | 1,795,142,651 | 1,752,947,081 | 1,724,766,491 | 1,689,415,514 |
| 受取利息 | - | - | 186 | - | - | - |
| 支払利息 | △ 131,196 | △ 137,169 | △ 100,245 | △ 95,859 | △ 117,196 | △ 94,520 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 5,001,469,943 | △ 2,996,691,108 | 2,032,022,422 | △ 723,803,192 | △ 3,258,515,310 | 540,782,345 |
| 売買益 | 17,513,749 | 21,578,558 | 2,126,929,308 | 17,372,963 | 64,344,385 | 570,757,640 |
| 売買損 | △ 5,018,983,692 | △ 3,018,269,666 | △ 94,906,886 | △ 741,176,155 | △ 3,322,859,695 | △ 29,975,295 |
| (C) 信託報酬等 | △ 172,325,510 | △ 170,979,725 | △ 153,258,657 | △ 159,426,064 | △ 153,204,385 | △ 145,881,805 |
| (D) 当期繰越損益金 (A + B + C) | △ 3,315,996,817 | △ 1,337,102,462 | 3,673,806,357 | 869,621,966 | △ 1,687,070,400 | 2,084,221,534 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 36,438,892,565 | △ 40,662,985,978 | △ 42,686,644,408 | △ 39,596,990,513 | △ 39,459,456,386 | △ 41,682,082,967 |
| (F) 追加信託差損益金 | △135,187,804,154 | △133,211,412,967 | △130,753,650,741 | △127,865,282,284 | △125,577,964,624 | △123,068,688,561 |
| (配当等相当額) | (8,689,369,299) | (8,557,218,420) | (8,394,735,092) | (8,205,416,821) | (8,054,898,714) | (7,889,121,449) |
| (売買損益相当額) | (△143,877,173,453) | (△141,768,631,387) | (△139,148,385,833) | (△136,070,699,105) | (△133,632,863,338) | (△130,957,810,010) |
| (G) 計 (D + E + F) | △174,942,693,536 | △175,211,501,407 | △169,766,488,792 | △166,592,650,831 | △166,724,491,410 | △162,666,549,994 |
| (H) 収益分配金 | △ 1,648,841,327 | △ 1,623,464,292 | △ 1,592,364,262 | △ 1,556,160,013 | △ 1,527,331,199 | △ 1,495,570,533 |
| 次期繰越損益金 (G + H) | △176,591,534,863 | △176,834,965,699 | △171,358,853,054 | △168,148,810,844 | △168,251,822,609 | △164,162,120,527 |
| 追加信託差損益金 | △135,187,804,154 | △133,211,412,967 | △130,753,650,741 | △127,865,282,284 | △125,577,964,624 | △123,068,688,561 |
| (配当等相当額) | (8,689,369,299) | (8,557,218,420) | (8,394,735,092) | (8,205,416,821) | (8,054,898,714) | (7,889,121,449) |
| (売買損益相当額) | (△143,877,173,453) | (△141,768,631,387) | (△139,148,385,833) | (△136,070,699,105) | (△133,632,863,338) | (△130,957,810,010) |
| 分配準備積立金 | 487,264,251 | 514,670,039 | 634,415,574 | 655,927,643 | 686,622,251 | 753,908,826 |
| 繰越損益金 | △ 41,890,994,960 | △ 44,138,222,771 | △ 41,239,617,887 | △ 40,939,456,203 | △ 43,360,480,236 | △ 41,847,340,792 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年7月11日～2018年1月10日)は以下の通りです。

| 項 目 | 2017年7月11日～ 2017年8月10日 | 2017年8月11日～ 2017年9月11日 | 2017年9月12日～ 2017年10月10日 | 2017年10月11日～ 2017年11月10日 | 2017年11月11日～ 2017年12月11日 | 2017年12月12日～ 2018年1月10日 |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 1,685,472,083円 | 1,659,587,617円 | 1,723,163,430円 | 1,593,424,385円 | 1,571,443,994円 | 1,578,814,764円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後) | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 8,689,369,299円 | 8,557,218,420円 | 8,394,735,092円 | 8,205,416,821円 | 8,054,898,714円 | 7,889,121,449円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 450,633,495円 | 478,546,714円 | 503,616,406円 | 618,663,271円 | 642,509,456円 | 670,664,595円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 10,825,474,877円 | 10,695,352,751円 | 10,621,514,928円 | 10,417,504,477円 | 10,268,852,164円 | 10,138,600,808円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 262円 | 263円 | 266円 | 267円 | 268円 | 271円 |
| g. 分配金 | 1,648,841,327円 | 1,623,464,292円 | 1,592,364,262円 | 1,556,160,013円 | 1,527,331,199円 | 1,495,570,533円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

| | 第166期 | 第167期 | 第168期 | 第169期 | 第170期 | 第171期 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 | 40円 |

○お知らせ

約款変更について

2017年7月11日から2018年1月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

| 種類・項目 | 高利回り先進国債券ファンド クラスA | |
|-----------|---|--|
| | ケイマン籍円建外国投資信託 | |
| 運用の基本方針 | | |
| 基本方針 | 利子収入などを中心とする安定的な収益の獲得を目指します。 | |
| 主な投資対象 | 世界のソブリン債（国債、地方政府債、政府機関債、政府保証債、国際機関債をいいます。）や社債、コマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。 | |
| 投資方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済協力開発機構（OECD）加盟国の中から信用力が高く、金利水準が相対的に高い国の公社債に投資を行ないます。 ・ 投資対象通貨は、必要に応じて適宜見直します。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。 | |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式への投資は行ないません。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 | |
| 収益分配 | 原則として、毎月5日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。 | |
| ファンドに係る費用 | | |
| 信託報酬など | 純資産総額に対し年率0.50% （国内における消費税等相当額はかかりません。） | |
| 申込手数料 | ありません。 | |
| その他の費用など | 事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、約款変更関連費用、監査費用、信託財産に関する租税など。 | |
| その他 | | |
| 投資顧問会社 | 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド | |
| 管理会社 | 日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド | |
| 信託期間 | 2163年3月26日まで | |
| 決算日 | 原則として、毎年12月末日 | |

マナー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2017年1月16日）
（2016年1月16日～2017年1月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 信託期間 | 2003年3月28日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。 |

ファンド概要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 | 券 率 | 純 資 産 額 |
|-----------------|-----|--------|------|---------|-----|---------|
| | | 騰 落 | 中 率 | | | |
| 10期(2013年1月15日) | 円 | 10,165 | 0.1 | 79.0 | 771 | 百万円 |
| 11期(2014年1月15日) | | 10,173 | 0.1 | 79.3 | 895 | |
| 12期(2015年1月15日) | | 10,177 | 0.0 | 80.1 | 674 | |
| 13期(2016年1月15日) | | 10,179 | 0.0 | 71.0 | 295 | |
| 14期(2017年1月16日) | | 10,176 | △0.0 | — | 229 | |

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 | 券 率 |
|---------------------|-----|--------|------|---------|-----|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期 首) 2016年1月15日 | 円 | 10,179 | — | 71.0 | % |
| 1月末 | | 10,179 | 0.0 | 65.3 | |
| 2月末 | | 10,179 | 0.0 | 70.8 | |
| 3月末 | | 10,179 | 0.0 | 67.9 | |
| 4月末 | | 10,179 | 0.0 | — | |
| 5月末 | | 10,179 | 0.0 | — | |
| 6月末 | | 10,178 | △0.0 | — | |
| 7月末 | | 10,178 | △0.0 | — | |
| 8月末 | | 10,178 | △0.0 | — | |
| 9月末 | | 10,177 | △0.0 | — | |
| 10月末 | | 10,177 | △0.0 | — | |
| 11月末 | | 10,177 | △0.0 | — | |
| 12月末 | | 10,176 | △0.0 | — | |
| (期 末) 2017年1月16日 | | 10,176 | △0.0 | — | |

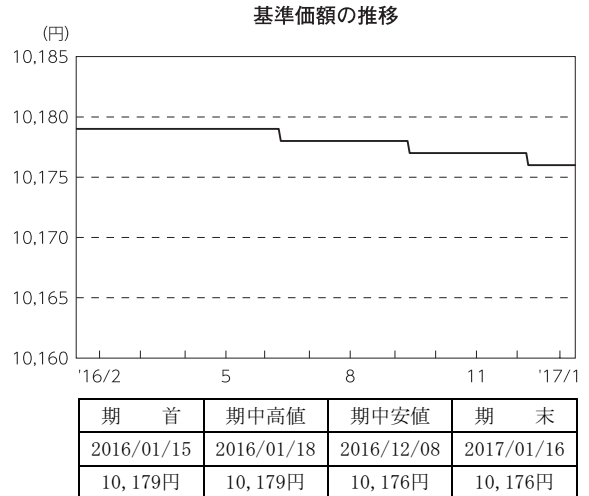
(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2016年1月16日～2017年1月16日)

基準価額の推移

期間の初め10,179円の基準価額は、期間末に10,176円となり、騰落率は△0.0%となりました。



基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.27%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月16日～2017年1月16日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|---------------|-----------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 円 0 (0) | % 0.000 (0.000) | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 0 | 0.000 | |
| 期中の平均基準価額は、10,178円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月16日～2017年1月16日)

公社債

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|--------|------|--------------|----------------------|
| 国 内 | 国債証券 | 千円 20,000 | 千円 － (230,000) |

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月16日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年1月16日～2017年1月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2017年1月16日現在)

2017年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年1月16日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 232,599 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 232,599 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月16日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 232,599,077 |
| コール・ローン等 | 232,599,077 |
| (B) 負債 | 2,882,614 |
| 未払解約金 | 2,882,342 |
| 未払利息 | 272 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 229,716,463 |
| 元本 | 225,742,901 |
| 次期繰越損益金 | 3,973,562 |
| (D) 受益権総口数 | 225,742,901口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,176円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は290,685,921円、期中追加設定元本額は80,936,434円、期中一部解約元本額は145,879,454円です。

(注) 2017年1月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

| | |
|---|-------------|
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース) | 60,896,443円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース | 31,095,811円 |
| ・高金利先進国債券オープン(毎月分配型) | 28,261,930円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース) | 25,589,846円 |
| ・世界銀行債券ファンド(毎月分配型) | 25,035,796円 |
| ・日興・GS 世界ソブリン・ファンド(毎月分配型) | 13,334,216円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース) | 10,055,587円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース) | 7,850,838円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース | 6,269,553円 |
| ・日興・アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド | 4,499,590円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース | 2,972,898円 |
| ・日興・GS 世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家販売制限付) | 2,493,023円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(南アフリカランドコース) | 1,796,630円 |
| ・高金利先進国債券オープン(資産成長型) | 1,476,769円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(メキシコペソコース) | 1,435,666円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型(米ドルコース) | 699,977円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドルピーコース) | 598,683円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)米ドル・コース | 405,200円 |
| ・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)CSI300 | 198,295円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドル・ブラジルレアルコース) | 190,152円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドル・アジア通貨バスケットコース) | 116,559円 |
| ・高金利通貨コレクション | 101,847円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)円コース | 83,121円 |
| ・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドネシアルピアコース) | 66,761円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)トルコリラ・コース | 60,143円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)米ドル・コース(資産成長型) | 57,728円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)メキシコペソ・コース | 39,353円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース(資産成長型) | 22,687円 |
| ・上場インデックスファンド海外債券(Citi WGBI)毎月分配型 | 19,740円 |
| ・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース(資産成長型) | 18,059円 |

(注) 1口当たり純資産額は1,0176円です。

○損益の状況 (2016年1月16日～2017年1月16日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 72,079 |
| 受取利息 | 4,498 |
| 支払利息 | △ 76,577 |
| (B) 有価証券売買損益 | 111 |
| 売買益 | 111 |
| (C) 保管費用等 | △ 719 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 72,687 |
| (E) 前期繰越損益金 | 5,210,835 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,435,858 |
| (G) 解約差損益金 | △2,600,444 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 3,973,562 |
| 次期繰越損益金(H) | 3,973,562 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2016年1月16日から2017年1月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。